

## 博 修 士 会 会 報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors

2018年7月1日発行

▲東体育館



## ごあいさつ

関西大学博修士会会長 北嶋 弘一

関西大学博修士会は、昭和27年（1952年）の設立以来、本年で創立67年目を迎えます。会員の皆様におかれましては、各地ならびに各界においてそれぞれ活躍のこととお慶び申し上げますとともに、本会の活動に対しまして心温まるご助言をはじめ特別協力金のご寄付など平素より数々のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年2月23日に韓国平昌で開催された冬季オリンピックの女子フィギュアスケートに本学文学部2年生の宮原知子さんが日本のエースとして出場し、日本中を魅了したことは記憶に新しいことでもあります。昨年は足に怪我をして選手生命が危ぶまれましたが、持ち前の真面目な努力によってそれを乗り越えて日本代表となりました。オリンピック団体戦で指摘された回転不足も短期間で克服して自己ベストを更新し、見事4位入賞という輝かしい結果を残した姿に感動を覚え、さらには4年後の北京五輪への期待が募ります。

一方、安倍政権の継続で官僚の緩みが問題となっていますが、日本経済は一応安定を保っており、学生の就職状況も好調を堅持していることは何より明るいニュースであります。

これまでの関西大学大学院修士生の総数は21,000名を超え、校友会組織（約46万名）の中でも大所帯の同窓会の一つとして博修士会は発展を遂げております。現在の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学、外国語教育学、心理学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、人間健康の13研究科博士課程前期課程と同後期課程および法務、会計、臨床心理研究科心理臨床学専

攻の3専門職学位課程の計16研究科を擁する我が国屈指の大学院に発展、成長しております。

去る3月22日に举行されました学位記授与式では、534名の修士と85名の専門職を合せた619名の修了生および33名の博士の計652名を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では23名の修士と8名の専門職の計31名の修了生および10名の博士を迎えました。さらに、4月2日に行われました入学式では16研究科727名および昨年の秋学期入学生30名を加えた757名のフレッシュな学生会員を迎え、創立132年目を迎えた母校の学問の中核として発展の一翼を担っていただくことを期待するものであります。

来る7月28日（土）に平成30年度関西大学博修士会総会・学術講演会ならびに懇親会を開催いたします。総会後の学術講演会では一昨年度に続き「文部科学省・私立大学ブランディング事業」に連続採択されました「オープン・プラットフォームによる東アジア文化研究」のプロジェクトを率いておられる外国語学部教授の内田慶市先生をお招きして130周年記念事業として開設されました梅田キャンパスにおいて講演いただきます。皆様には是非ともご出席いただき内田慶市先生と親しく懇談していただきたいと思っております。

会員諸氏には、公私にわたり大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

## 平成30年度 総会・講演会・懇親会のご案内

**日時：**平成30年7月28日（土） 12:30より受付開始

**場所：**関西大学梅田キャンパス：7階 701号室

**内容：第1部：総会**

13:00～14:30 7階 701号室

**第2部：学術講演会**

14:30～15:30 7階 701号室

演題：「関西大学アジア・オープン・リサーチセンターの目指すもの—関西大学の東アジア研究」

講師：内田 慶市 先生（関西大学外国語学部教授）  
（関西大学アジア・オープン・リサーチセンター長）

**第3部：懇親会**

15:30～16:50 7階 701号室

**総会・懇親会参加者：**会員+会員の紹介者に限定  
（事前申込制：郵便振替とする）

**総会・懇親会会費：**会員と同伴者は5,000円、院生会員は無料

**お願い：**ご出席の方は、7月20日（金）までに、事前に郵便振替でお申し込み下さい。

■郵便振替：00900-2-68733

関西大学博修士会：  
通信欄に「総会費」など  
ご記入下さい。

■問合せ先：博修士会総務部

■FAX：06-6368-8476

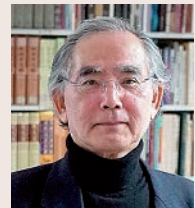
校友会 気付 博修士会 宛  
kandaimd@muse.ocn.ne.jp

（総務部：中原 宛）

■はがき：〒564-8680

吹田市山手町3-3-35

関西大学校友会事務局気付 博修士会



関西大学 外国語学部教授  
アジア・オープンリサーチセンター長  
内田 慶市 先生

# 会員からのメッセージ

## 夢を極める季節



胡 肖岳  
(平成29 修 社会学研究科)

この冬は例年以上の寒さでしたが、それを耐えてきたからこそ、新緑と桜満開の春を迎えました。四季折々をキャンパスで3年間過ごした私の現在の心境はそのようなものです。

修了を目前にして、3年前の春の日に、関西大学の一員として迎えられたことを思い出します。大きな期待と若干の不安を胸に抱きながら、緑あふれるキャンパスで過ごす、新しい環境へ飛び込みました。その後の3年間、ご指導して下さった森田先生をはじめ、多くの人に見守られて、さまざまな仲間たちと出会い、共に学び、遊び、そして自由に思考する豊かな歳月を送ることが出来ました。それは、私の人生において大変有意義なものとなりました。

中国春秋時代の兵法書『孫子』には「守りすなわち攻め、人心を得る者が天下も得られる」という戦略が記載されています。大学卒業前に中国にある日系企業で実習していた折に、この思想は、日本の現代の経営学にも通じるものがあるという考えに至りました。日本の組織は人という資産を最重要視するため、その戦略は現代でも活用できると考え、日本の大学院に進学することを決めました。まず、研究生として、ゼロから出発し、言語の壁と専門知識の壁にぶつかりながら、入学試験合格へ突き進んでいきました。そして、M1に入ると、指導教授のご指導に基づき、自分の研究に関連する授業を履修し、専門領域で高度な知識を蓄えるため、専門文献から研究方法論まで、たくさんの量の書籍を読みました。日々、驚きや発見を仲間と分かち合いながら、学問の楽しさや厳しさを心に深く感じていました。

M2に入ると、国際部と指導教授の推薦をいただき、無事文部科学省留学生奨励金を獲得しました。この年度は自分の研究課題に熱心に取り組んで参りまし

た。より良い説得力のある論文を完成させるために、大量の文献を調べ、研究のための理論を組み立てると同時に、実態を把握するために地道な事例研究にも多くの時間を割きました。多くの方から質問や意見をいただき、考え方の多様さ、深く考えることの重要性、研究の壁に何度ぶつかっても挫けずに乗り越えることの大切さを感じながら、自由に思考する充実した歳月を送ることができました。

大学院入学以来、ゼロから出発し、自身で決めた目標へ突き進んでいったこの3年間は、私にとって夢を極める季節と言えます。この場をお借りして、理想を追求してきたこの3年間、指導教授をはじめ、私を温かく見守り支え続けてくれた多くの方々に、改めて感謝申し上げます。この春から、私は新たな目標に向かって歩き出します。関西大学大学院の修了生であることを誇りに、本学で学んだ知識、専門領域で培った力を十分に発揮し、視野をさらに広げ、グローバルな人材になるために自らのさらなる成長を目指します。

## 「引き下がり迂回する 一博士論文提出の3ヶ月前」



宗村 敦子  
(平成29 博 経済学研究科)

博士論文を提出する3ヶ月前、雨が続く南アフリカのケープタウンの自宅で私は頭を抱えていた。その時期は台風が続いていたせいで庭の木がなぎ倒され、3人のハウスメイトと片付けをしながら今後の予定に考えを巡らせていた。来月には帰国が迫っている。資料収集は続けていたものの、このままでは論文の問題設定を変えなければいけないかもしれないしなかった。南アフリカにおける果物缶詰産業というテーマで、私はある時期まで地域産業だった缶詰工場の労働者たちのルート方法を調べるという問題に取り組んでいた。彼

らの行き来を知るためには、周辺地域の賃金や生活実態を詳しく知る必要があった。しかも経済史研究として論文を書くには、フィールドワークではなく、歴史資料に頼らなければいけなかった。

聞き取り調査に躊躇するのには理由があった。直接当事者に聞く手があるとはいえ、私は歴史研究の立場で質問票を書くことができなかった。工場群の位置をプロットした地図を使って地域産業とはいったものの、「地域」という言葉が何を指すのかがわからなかった。なぜ農産物加工がここまで拡大して南アフリカの農村をどう変えたのかという歴史研究に、聞き取り調査をどう使えばいいかに悩んでいた。

そのような折に、同じ地域の伝統産業であるワイン醸造における労働者のリクルートについての論文が発表された。直接の問題関心ではなかったものの、果物缶詰工場がぶどう畑と隣接していることは何かの手掛かりになるかもしれない。ケープタウン大学の図書館に着いて司書に話すと、彼女は「ワインのことが知りたいのなら」とケープ植民地の議会議事録を手にも奥から戻ってきた。それは農場労働者の賃金問題について様々な利害関係者の証言を収録したもので、

ワイン農場の他に缶詰加工用の果物栽培農場での賃金支払いの様子も詳しく語られていた。1週間で200ページ程度を一通り撮影したあと、私は改めて質問票を作りだした。古くからある伝統産業を少しでも掘り下げることによって、果物缶詰産業が後発的に形成された理由がわかるのではないかと期待があった。

7月のある夕方、ケープタウンから程遠くないウースターという町のガソリンスタンドで私は面談をお願いしていた方と待ち合わせをしていた。車の中で台風の話などを一通りした後、恐る恐る農場労働者の賃金支払いについて話を切り出すと、彼は少し沈黙した後「それ（奴隷制廃止後から続く報酬支払い方法）はケープの恥だ」と言った。3日間の調査中、彼は工場だけでなく町の教会や湖、売店、町のワイン酒蔵を巡り、どのようにして労働者が集まるのかを案内してくれた。ワインと果物農場・缶詰工場の関係については知る人が多く、言葉遣いに一つ一つ注意されながら聞き取りは無事に終わった。結局渡航前に期待したようなデータセットは収集できなかったが、この時の迂回勉強のおかげで缶詰工場群が示す「地域」や地域産業についてのイメージを得ることができたと思う。

**【拡散を狙い「ここだけ」連発し】**

「朝日なにわ柳壇」（『朝日新聞』2018年4月21日）に入選された博修士会会員の網本浩幸氏が川柳を投稿してくださいました。

**博修士会からのお願い**

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

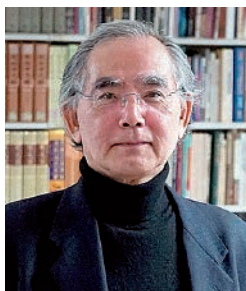
特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

**特別協力金納入者名簿**（五十音順、敬称略）（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

|       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 天井 一夫 | 網本 浩幸 | 池田 勝彦 | 今村 隆  | 岩井 治夫 | 江川 承和 | 岡本 哲和 |
| 緒方 正則 | 北川 勝彦 | 北嶋 弘一 | 北村 英子 | 木村 昌司 | 後藤 安子 | 小林 和代 |
| 竿田 嗣夫 | 笹倉 淳史 | 早苗 良雄 | 鹿田 幸治 | 篠塚 義弘 | 神保 敏明 | 高島 明仁 |
| 高村 高良 | 網木 寛  | 中野 裕  | 中原 住雄 | 錦織 利治 | 西崎 義男 | 西田 新二 |
| 羽生 和子 | 深谷 潤一 | 藤井 栄二 | 古橋 秀章 | 松嶋 宣樹 | 松田 充弘 | 松本 始  |
| 水野 一郎 | 明神 信夫 | 横田 仲敬 | 横山 清美 | 吉村 卓輝 | 和田 葉子 |       |

# 大学院ニュース

Graduate School News



## 関西大学アジア・オープン・リサーチ センター(KU-ORCAS)始動！

外国語学部 教授

KU-ORCAS センター長 **内田 慶市**

本学は、江戸時代、大阪の地にあって当時の市民の教養形成に大きな役割を果たしてきた漢学塾「泊園書院」をその源とする関西大学東西学術研究所を中心に、東アジア文化研究においてこれまで大きな成果を挙げてきました。とりわけ、近年のグローバルCOEプログラムなどにおけるめざましい研究業績により、すでに「東アジア文化研究の関大」「関大と言えば東アジア研究」として世界的な認知を受けてきています。また、このグローバルCOEプログラムで私たちが提唱した新しい学問体系である「東アジア文化交渉学」およびその方法論の一つである「周縁からのアプローチ」は、いまや世界の学問研究の主流とも言えます。あわせて、本学総合図書館の個人文庫を中心とするコレクションや博物館は世界に誇るべき東アジア関係資料の宝庫であり、それらのデジタル化もすでに相当量が公開され、そのノウハウも蓄積されています。そうした面においても、本学の貴重な資料群は、世界の研究者の垂涎的となっています。

今回、私たちは、こうした200年にわたる長き学統の中で培われてきた「関大の東アジア文化研究」の学術リソースと国際的学術ネットワーク（GCOEですでに多くの研究機関と学術協定を結んでいます）を併せて今回、昨年9月には日本の大学機関としては初めてパチカン図書館とのアジア関係文献資料デジタル化協定も締結しています）を基盤として、「関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（Kansai

University Open Research Center for Asian Studies: KU-ORCAS）」を立ち上げました。

本センターでは、デジタル知識基盤社会に適合した人と世界に開かれた「デジタルアーカイブ」の構築を中心として、特に「東西文化接触とテキスト」「東アジアの中の大坂の学統とネットワーク」「古都・史跡の時空間」という3つの研究ユニットを中心に活動していきますが、同時に、研究リソースのオープン化、研究グループのオープン化、そして、研究ノウハウのオープン化という「3つのオープン化」のポリシーのもとに、これまでの学問領域や人の垣根を越えた新たな人文知の創造に向けて、世界に開かれたハブ的機能を備えたオープン・プラットフォームを形成し、「世界的な東アジア文化研究を牽引する大学」として、世界最高水準の東アジア文化研究拠点形成を活動していきます。

KU-ORCASは、東アジア関係の研究者のみならず、異分野研究者、教育機関の他、企業、自治体、加えて関心のある一般市民までといった様々なステークホルダーを対象としており、まさに世界のすべての人、すべての学域に開かれた空間です。私たちは、ここから世界の東アジア文化研究と人文学の新しい地平が切り拓かれるものと確信しています。

多くの知恵と力を結集して、KU-ORCASを世界に冠たるアジア研究拠点にしていきたいと願っています。

## 先輩のご活躍



### スケーターの成長を喜びとして

アイススケート部 監督 **織田信成** (平成26 修 文学研究科)

関西大学への入学を決意したのは、一つは当時周りで優しくして下さった方が関西大学出身の方が多かったという事と、もう一つは一つ上に高橋大輔さんがいて先に関西大学に入学されていたので、まだジュニア選手だった僕は、シニアですでに戦っていた高橋さんを見て、そばで何か学ぶ事が出来ればという思いがあったからです。

関西大学に入学してからの生活はただただ忙しいの一言でした。入学前に地元高槻で練習していたリンクが閉鎖になり、練習拠点を高石市にあるリンクに移していたからです。千里山キャンパスで講義が終わり、電車を乗り継いで、高石市へ向かいます。そして練習が終わって自宅のある高槻市まで帰ってくるのが23時半。そこからご飯を食べて、講義での課題を終わらせ、ストレッチなどをしているとあっという間に夜中に。移動の疲れと練習の疲労で、毎日を過ごすだけで精一杯でした。

そういった中、当時理事長であった森本靖一郎さんとお話する機会があり、関西のスケートリンク事情や練習環境について、厚かましいながらも相談させて頂きました。その話の後に、「じゃあ、関大がアイススケートリンク建てなあかん」と言って下さり、僕も「ありがとうございます」と言ったものの、信じられないまま帰路に着きました。そしてそれから数年後、皆さんもご存知の通り、日本で初めての大学が所有するアイススケートリンクが、関西大学高槻キャンパス内に誕生しました。当時のお話を聞くと、アイススケートリンク建設にあたり反対派の意見が多い中、森本さんが力強く賛成の意見を述べて下さり実現したそうです。森本さんをはじめ、アイススケートリンク建設にあたりご協力頂いた全ての方に、感謝してもしき

れません。僕やたくさんの方のスケーターの練習環境が充実したというのはもちろん、今では平昌オリンピックに出場した宮原知子選手をはじめ、世界で活躍する数多くの選手たちが鍛錬を重ねています。

現役を引退してからのこれからは、恩返しの旅の始まりです。サポートして下さった関西大学や家族、周りの方々に、フィギュアスケートを通してどんな形でも笑顔になってもらえるように、自分なりに皆さんに感謝の気持ちを伝える事ができればと思っています。また現在は、関西大学アイススケート部の監督として、全国レベルのスケーターから大学入学後に始めた学生スケーターなどを指導しています。全てのスケーターがやりがいや努力する事の素晴らしさを見つけ、フィギュアスケートを通して人として大きく成長していく姿をサポートしていけるように、日々精進していきます。



# 総会議案書

## 〈第1号議案書〉

### 平成29年度事業報告

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

#### [1] 総会に関する事項

平成29年度 総会・学術講演会・懇親会

開催日時：平成29年7月29日（土）13:30～

開催場所：関西大学千里山キャンパス：イノベーション創生センター 2階：対話スペース（T-Space）

来 賓：矢野 秀利 学校法人関西大学、常務理事  
石川 正司 関西大学 イノベーション創生センター長  
田中 義昭 関西大学 校友会副会長  
奥田 恵造 関西大学 校友会事務局課長

◇第1部 総会 13:30～14:30：2階・対話スペース（T-Space）

- (1) 平成28年度事業報告
- (2) 平成28年度収支決算および監査報告
- (3) 平成29年度一般会計収支予算案

◇第2部 学術講演会 14:30～15:30：2階・対話スペース（T-Space）

演 題：「人に届く」関大メディカルポリマーによる未来医療の創出

講 師：大矢 裕一 先生（関西大学 化学生命工学部教授）

◇第3部 懇親会 15:40～17:00：新関西大学会館南棟 4階 レストラン「チルコロ」

#### [2] 役員会に関する事項

##### ◇理事会

- ・平成29年4月3日（月）18:00～  
関西大学 校友会・父母会館 2階会議室  
（平成29年度総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算の件、その他）

##### ◇常任理事会

- ・平成30年2月24日（土）14:00～  
関西大学 校友会・父母会館 2階会議室  
（学位記授与式、入会案内・入会受付手続き・記念写真撮影に関する件、平成30年度総会・学術講演会・会報発行計画、役員推薦の件等）

##### ◇その他

- (1) 平成29年4月2日（日）
  - ・2017スプリングフェスティバル（千里山キャンパス）に参加（会長コーナ）
- (2) 平成29年4月3日（月）
  - ・大学院入学式に出席（千里山中央体育館）（会長コーナ）
  - 学生会員への勧誘資料配布（総務部・広報部・財務部・事業部）
- (3) 平成29年6月10日（土）
  - ・校友会第109回定時代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ・総務部）
- (4) 平成29年7月1日（土）
  - ・「会報2017年号」を編集・発行（広報部）
- (5) 平成29年7月1日（土）
  - ・全国組織代表者会議（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ）
- (6) 平成29年9月3日（日）
  - ・関西大学フェスティバル in 東京（ベルサール東京日本橋）に出席（会長コーナ）
- (7) 平成29年10月15日（日）
  - ・平成29年度校友会総会（関西大学BIGホール100）に出席（全部署）
- (8) 平成30年1月15日（月）
  - ・校友会新年互礼会（大阪新阪急ホテル）に出席（会長コーナ）

(9) 平成30年3月22日（木）

- ・大学院学位（修士・専門職）記授与式（関西大学BIGホール100）に出席（会長コーナ）
- ・新会員の入会勧誘資料配布（総務部・財務部・広報部・事業部）
- ・記念写真撮影（財務部・事業部・広報部・総務部）

(10) 平成30年3月24（土）

- ・第110回定時代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（全部署）

## 〈第2号議案書〉

### 平成29年度収支決算報告書

#### 一般会計収支決算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

#### (収入の部)

(単位：円)

| 項 目           | 予算額       | 実行額       | 差引差額    |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| 経 常 収 入       | 831,000   | 644,002   | 186,998 |
| 1. 会 費 収 入    | 300,000   | 147,000   | 153,000 |
| ① 正会員入会金収入    | 60,000    | 15,000    | 45,000  |
| ② 院生会員入会金収入   | 240,000   | 132,000   | 108,000 |
| 2. 事 業 収 入    | 180,000   | 105,000   | 75,000  |
| ① 総 会 会 費 収 入 | 150,000   | 105,000   | 45,000  |
| ② 広 告 料 収 入   | 30,000    | 0         | 30,000  |
| 3. 雑 収 入 等    | 351,000   | 392,002   | ▲41,002 |
| ① 雑 収 入       | 50,000    | 38,000    | 12,000  |
| ② 特別協力金収入     | 300,000   | 354,000   | ▲54,000 |
| ③ 受 取 利 息     | 1,000     | 2         | 998     |
| 前 期 繰 越 金     | 794,237   | 794,237   | 0       |
| 合 計           | 1,625,237 | 1,438,239 | 186,998 |

#### (支出の部)

(単位：円)

| 項 目          | 予算額       | 実行額       | 差引差額     |
|--------------|-----------|-----------|----------|
| 経 常 支 出      | 1,123,000 | 763,394   | 359,606  |
| 1. 一 般 管 理 費 | 223,000   | 117,564   | 105,436  |
| ① 通 信 費      | 50,000    | 24,670    | 25,330   |
| ② 事務用消耗品費    | 80,000    | 74,838    | 5,162    |
| ③ 支 払 手 数 料  | 13,000    | 8,056     | 4,944    |
| ④ 雑 費        | 80,000    | 10,000    | 70,000   |
| 2. 会 議 費     | 280,000   | 153,890   | 126,110  |
| ① 総 会 費      | 200,000   | 134,000   | 66,000   |
| ② 諸 会 議 費    | 80,000    | 19,890    | 60,110   |
| 3. 事 業 費     | 620,000   | 491,940   | 128,060  |
| ① 印 刷 費      | 480,000   | 444,420   | 35,580   |
| ② 修士記授与記念写真費 | 100,000   | 47,520    | 52,480   |
| ③ 記 念 品 費    | 40,000    | 0         | 40,000   |
| 予 備 支 出      | 30,000    | 0         | 30,000   |
| 予 備 費        | 30,000    | 0         | 30,000   |
| 当 期 支 出 合 計  | 1,153,000 | 763,394   | 389,606  |
| 次 期 繰 越 金    | 472,237   | 674,845   | ▲202,608 |
| 合 計          | 1,625,237 | 1,438,239 | 186,998  |

# 総会議案書

## 特別会計収支決算書

### 奨学金特別基金

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

(単位：円)

| 収入の部  | 金額        | 支出の部  | 金額        |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 前期繰越金 | 1,204,943 | 次期繰越金 | 1,204,955 |
| 受取利息  | 12        |       |           |
| 合計    | 1,204,955 | 合計    | 1,204,955 |

### 名簿特別勘定

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

(単位：円)

| 収入の部     | 金額      | 支出の部  | 金額      |
|----------|---------|-------|---------|
| 前期繰越金    | 853,562 | 次期繰越金 | 853,570 |
| 一般会計より入金 | 0       |       |         |
| 受取利息     | 8       |       |         |
| 合計       | 853,570 | 合計    | 853,570 |

## 財産目録

平成30年3月31日現在

### (資産の部)

(単位：円)

| 科目   | 摘要                    | 金額        |
|------|-----------------------|-----------|
| 普通預金 | 一般会計収支(りそな/難波)        | 49,642    |
| 振替貯金 | 一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター) | 608,120   |
| 通常貯金 | 一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター) | 17,083    |
| 小計   |                       | 674,845   |
| 普通預金 | 特別会計 奨学金特別基金用(りそな/難波) | 1,204,955 |
| 普通預金 | 特別会計 名簿特別勘定用(りそな/難波)  | 853,570   |
| 合計   |                       | 2,733,370 |

### (負債及び正味財産の部)

(単位：円)

| 科目   | 摘要    | 金額        |
|------|-------|-----------|
| 正味財産 | 次期繰越金 | 2,733,370 |
| 合計   |       | 2,733,370 |

## 監査報告書

関西大学博修士会  
会長 北嶋 弘一殿

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施いたしました。

監査の結果、上記決算書類は、適正なものであることを認めます。

平成30年5月2日

監事 澤 勲   
監事 竿田 嗣夫   
監事 水野 一郎 

## 〈第3号議案書〉

### 平成30年度 一般会計収支予算(案)

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

### (収入の部)

(単位：円)

| 項目          | 予算額       | 摘要                      |
|-------------|-----------|-------------------------|
| 経常収入        | 830,500   |                         |
| 1. 会費収入     | 300,000   |                         |
| ① 正会員入会金収入  | 60,000    | 正会員入会見込<br>15,000円×4人   |
| ② 院生会員入会金収入 | 240,000   | 院生会員入会見込<br>12,000円×20人 |
| 2. 事業収入     | 180,000   |                         |
| ① 総会会費収入    | 150,000   | 総会出席見込<br>5,000円×30人    |
| ② 広告料収入     | 30,000    | 広告掲載見込<br>10,000円×3件    |
| 3. 雑収入等     | 350,500   |                         |
| ① 雑収入       | 50,000    | お土産料、記念写真代他             |
| ② 特別協力金収入   | 300,000   |                         |
| ③ 受取利息      | 500       | 預金利息等                   |
| 前期繰越金       | 674,845   |                         |
| 合計          | 1,505,345 |                         |

### (支出の部)

(単位：円)

| 項目           | 予算額       | 摘要          |
|--------------|-----------|-------------|
| 経常支出         | 1,123,000 |             |
| 1. 一般管理費     | 223,000   |             |
| ① 通信費        | 50,000    | 総会、役員会案内発送費 |
| ② 事務用消耗品費    | 80,000    | 文房具、事務用品費   |
| ③ 支払手数料      | 13,000    | 振込、振替送金手数料  |
| ④ 雑費         | 80,000    |             |
| 2. 会議費       | 280,000   |             |
| ① 総会費        | 200,000   | 懇親会費        |
| ② 諸会議費       | 80,000    | 役員会会議費等     |
| 3. 事業費       | 620,000   |             |
| ① 印刷費        | 480,000   | 会報、総会案内状印刷費 |
| ② 修士記授与記念写真費 | 100,000   |             |
| ③ 記念品費       | 40,000    |             |
| 予備支出         | 30,000    |             |
| 予備費          | 30,000    |             |
| 当期支出合計       | 1,153,000 |             |
| 次期繰越金        | 352,345   |             |
| 合計           | 1,505,345 |             |

\*予備費の支出は、役員会の承認を得るものとする。

## 〈第4号議案書〉

役員改選

## 2017年度第65回博修士会 総会・学術講演会



大矢裕一 先生

夏季恒例の総会は2017（平成29）年7月29日（土）13時45分から関西大学創立130周年を記念する一事業として創設された関西大学イノベーション創生センターで、矢野秀利常務理事、石川正司イノベーション創生センター所長、田中義昭校友会副会長、奥田恵造校友会事務局課長を来賓にお迎えして開催された。

総会では黙祷と学歌斉唱、来賓の方々から御挨拶を頂いた後、2016（平成28）年度の事業報告と収支決算報告、そして2017（平成29）年度予算（案）を全員一致で承認した。

続く学術講演会は、関西大学化学生命工学部の大矢裕一教授から『「人に届く」関大メディカルポリマーによる未来医療の創出』と題して御講演を頂いた。本講演で、同教授は医療への様々な可能性に言及され、さらに関大といえば「メディカルポリマー」と言われるブランドに育てあげたいと力強く表明された。講演後にレストラン「チルコロ」で開催された懇親会は、矢野常務理事の挨拶と天井一夫名誉会長の乾杯で始まり、参加者一同、終始和やかな宴を楽しむことができた。

(博修士会 広報部)

## 652名の新博修士の誕生 727名の新入生を迎える



2018年度 大学院入学式

2017（平成29）年度関西大学大学院学位記（修士・専門職）授与式は3月22日に千里山キャンパスのBIGホール100で行われた。学位被授与者は前期課程（修士）534名、専門職85名の合計619名であった。当日の会場は、修了生とそのご家族で満員であった。また、33名の博士が誕生した。

修了生に対して芝井学長は、手応えある仕事をやり遂げ、幸せで心豊かな人生を歩んでいくために、本学で学んだ知識と技能に加えて、トータルな人間性が必要であると説かれ、未来社会を切り抜く人となって頂きたいと激励した。

2018（平成30）年度大学院入学式は4月2日に千里山中央体育館で行われた。春学期の入学者は博士課程前期課程576名、博士課程後期課程56名、専門職大学院95名、合計727名であった。

新入生に対して芝井学長は、フランシス・ベーコンとマックス・ウェーバーの考えを例に、多忙を極める研究作業の間に、多くの学者たちが悩みつつ考えた学問は何のためにあるのか、「真理と幸福の問題」についても考えて頂きたいと式辞を送られた。

(博修士会 広報部)

「博修士会会報」2017年号に寄稿していただきました井上晴可さんにつきまして「平成28年度 修 総合情報学研究科」と誤って記載しておりました。正しくは「平成28年度 博 総合情報学研究科」です。お詫びして訂正させていただきます。（広報部）

## お知らせ！

ホームページも見て下さい！

<http://www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/>

## 博修士会会報 2018年号

2018年7月1日 発行  
 発行人 北嶋 弘一 編集人 北川 勝彦  
 発行所 関西大学博修士会  
 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35  
 関西大学校友会事務局気付